

◆年齢三区分別人口の推移 ～少子高齢化がさらに進行～

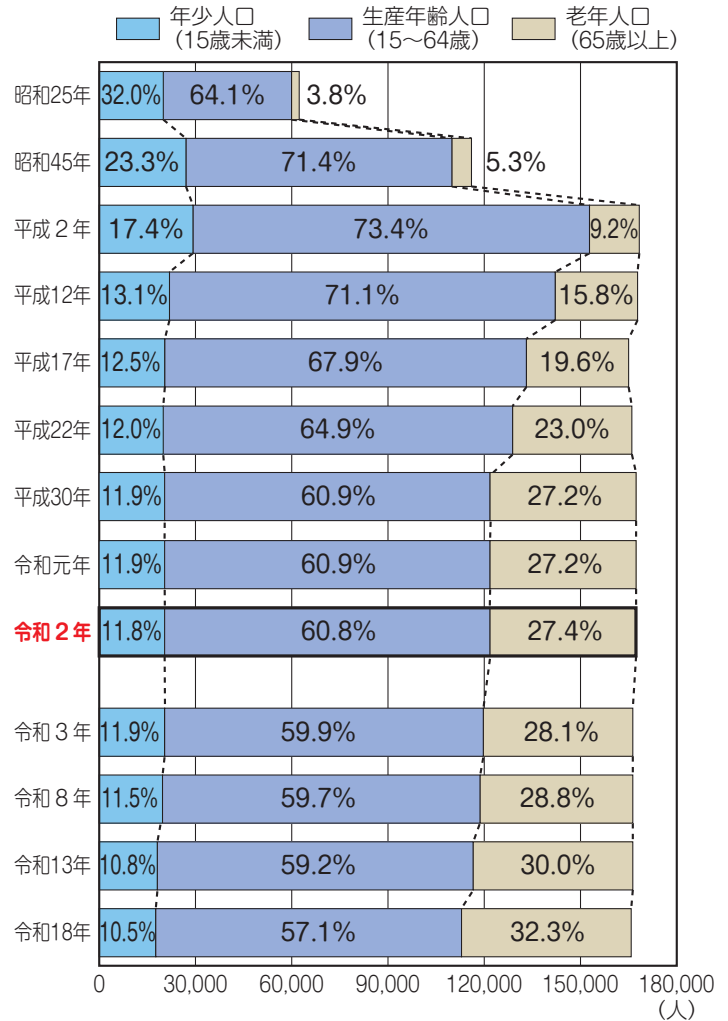
年少人口（15歳未満）の割合は低下傾向で推移し、平成2年には総人口に占める割合が20%を下回りました。平成17年からは12%前後で推移していますが、少子化が進行している状況といえます。

一方、老年人口（65歳以上）の割合は増加傾向で推移しています。令和2年では区民の約3.7人に1人が65歳以上の高齢者となっています。

現在27.4%となっている磯子区の老年人口の割合は、令和13年には約30%、令和18年には約32%となる見込みだよ。

横浜市将来人口推計

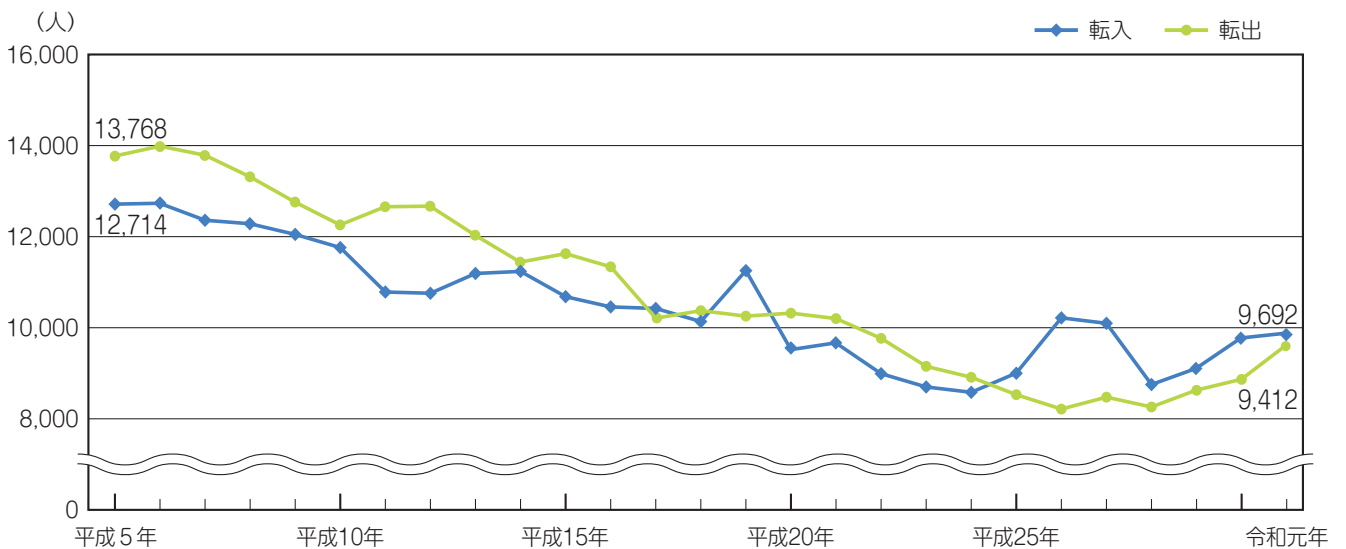
検索



出典：各年国勢調査、平成30年以降は登録人口（各年3月31日現在）
※年齢不詳は除く

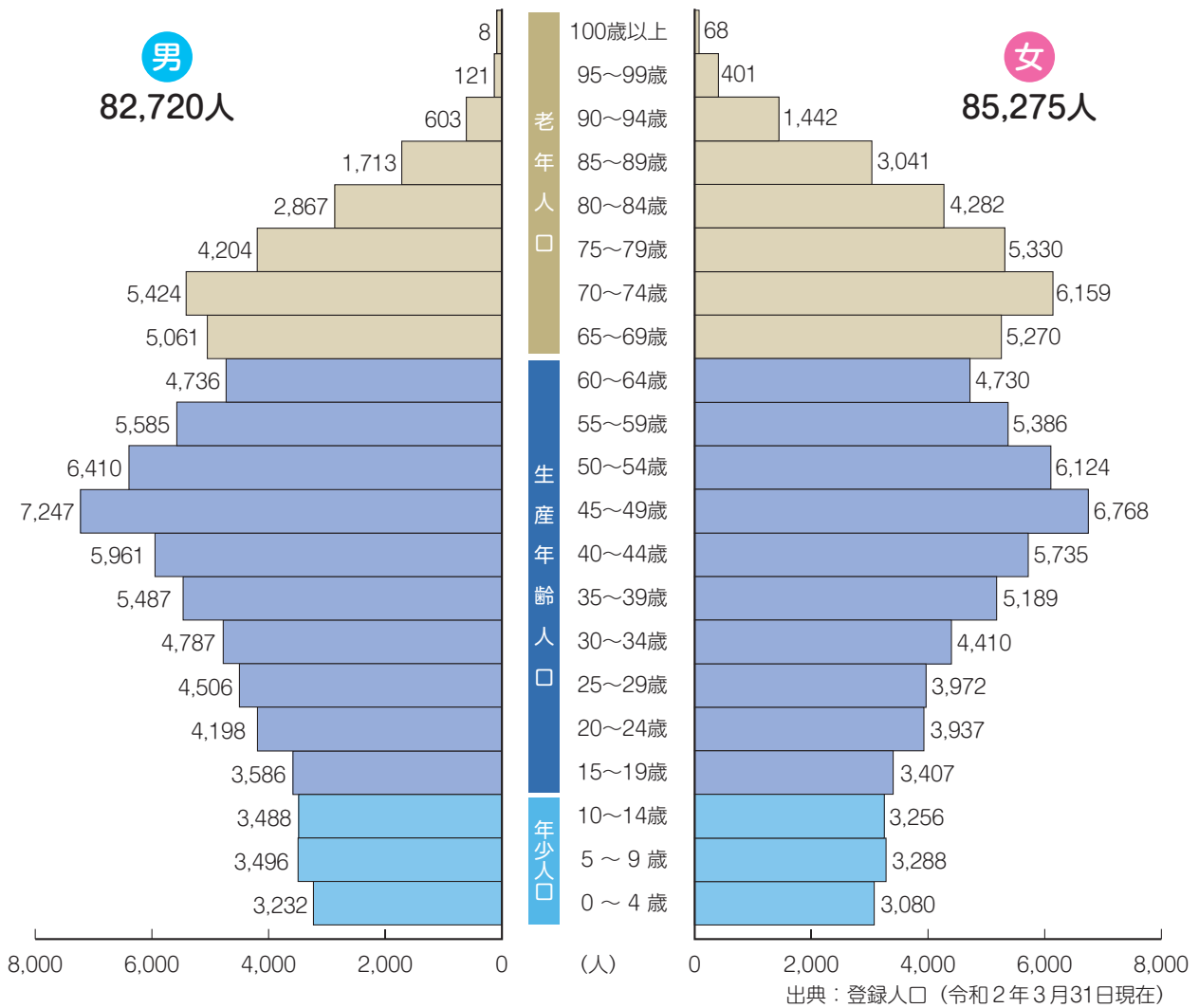
◆人口異動の推移(磯子区)

〈転入・転出の推移〉～転入・転出ともに増加傾向～

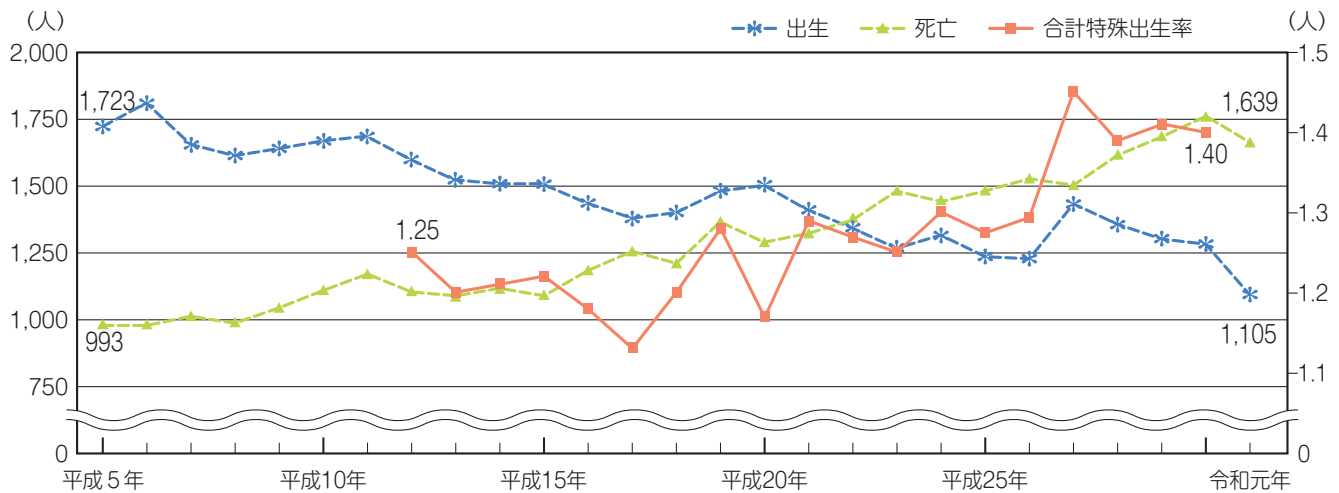


出典：横浜市人口ニュース（各年1月1日～12月31日）

◆人口ピラミッド(磯子区)



〈出生・死亡の推移〉～出生者数は減少傾向～



※合計特殊出生率は、1人の女性が一生に産む子どもの平均数です。

年齢15歳～49歳の年齢5歳階級ごとに算出した出生率の合計で、平成12年～30年までの数値を掲載しています。

出典：横浜市人口ニュース（各年1月1日～12月31日）